



今月のデータ

-20℃

不凍液が入っていても寒冷地仕様でない冷却水が凍結する恐れのある温度です。ウォッシャー液の凍結、バッテリー能力の低下にも要注意です。



参考「雪道・凍結路の危険を科学する3頁」

冬道を安全に走行するために

気象・道路情報・車両のチェック

冬の天候は予想もしない変化が起こりやすく、「こんなはずではなかった」とドライバー泣かせです。

たとえば降雪地域では、出発地が快晴であっても、目的地までの途中にある山間部で雪に見舞われる、といったケースがよくあります。

冬道を運転するとき、急な天候の変化に遭遇しても準備を何もしていなければ対応することは難しいものです。ですから、安全運転を確保するための準備を事前に調べておくことがなにより大切です。

まず、ドライブルートの気象情報を入念にチェックしましょう。出発地、目的地はもちろん、途中に山、川、海など気象に変化をもたらす自然が存在する場合、その地域の気象情報を正確に把握しましょう。また、気象は刻々と変化するものですから、運転中にも最新の情報を入手することに努めると同時に、道路情報についても最新情報を得て、危険の予知

をしましょう。

また、冬の厳しい寒さは車両トラブルを引き起こします。トラブルによって立ち往生することがあれば、時には乗員の生命を脅かすことにもなります。下記のチェックリストを参考に入念に点検してください。

出発前(後)チェックリスト

- | | | |
|----|------------------------|--------------------------|
| 1 | 燃料の量は十分か | ☐ |
| 2 | バッテリーの液量・充電状態は十分か | ☐ |
| 3 | エンジンオイルは低温にも対応できるか | ☐ |
| 4 | 冷却水の量・濃度を調整したか | ☐ |
| 5 | ウインドウォッシャー液は低温にも対応できるか | ☐ |
| 6 | ワイパーブレードが劣化していないか | ☐ |
| 7 | スタッドレスタイヤの摩耗状態を確認したか | ☐ |
| 8 | タイヤチェーン等の備品は搭載したか | ☐ |
| 9 | 燃料は寒冷地で調達できるようにしているか | ☐ |
| 10 | 帰社(宅)後に洗車したか | ☐ |

用意しておきたい装備品

出発までの準備が万全と思われても、予期せぬトラブルに遭遇するのが冬道ドライブの恐さです。

冬道でトラブルに巻き込まれたときに救援を要請しても、場所によっては救援を受けるまでに時間がかかってしまうことがあります。そのようなときは安全を確保しながら、自力でトラブルを解決するに越したことはありません。

そこで、トラブルに遭遇したときに備え、次のような装備品を積んでおきましょう。

なお、装備品の使い方は事前に確認し、特にタイヤチェーンは出発前に装着訓練をしておきましょう。



- ・タイヤチェーン
- ・ブースターケーブル
- ・スコップ
- ・スノースクレイパー
- ・懐中電灯
- ・牽引ロープ
- ・解凍スプレー
- ・古新聞／ガムテープ
- ・アームカバー付軍手／長ぐつ



「急」のつく運転は厳禁!



乾燥した路面と異なり、積雪路・凍結路では、タイヤチェーンやスタッドレスタイヤを装着していてもタイヤのグリップ力が格段に低下します。

このような条件下では、まず前車との車間距離を大きく取りましょう。そして、ハンドル、ブレーキ、アクセルなどすべての操作を「ゆっくりと」「丁寧に」行うことが肝心です。急ハンドル・急ブレーキ・急発進などはスピンやスリップに直結する恐れがありますから、「急」のつく運転は厳禁です。

とくに、積雪路・凍結路では止まることが難しくなります。絶えず前方や路面状況をチェックし、赤信号で止まるときも早め早めに減速しましょう。

凍結しやすい場所を知っておく

雪が積もっている道路よりも滑りやすいのが凍結路です。

凍結路は積雪路と異なり、凍っていることを見分けにくいものです。そのため車がスリップし始めてから初めて気づくことも少なくありません。

そこで、まずは路面状況に十分に目を配り、凍結路を早く発見することに努めましょう。そして、下記のような凍結しやすい場所の手前ではスピードを落とし、徐行運転で通過しましょう。

- ・橋の上
- ・トンネルの出入口
- ・切り通し(山や丘陵などを切り開いて造った道)
- ・山間部などの日陰になっているところ
- ・ブレーキをよく踏むところ(交差点やカーブの手前)

なお、雨や雪が降った後、気温が下がる深夜から明け方にかけては路面凍結にとくに注意してください。



東京海上日動リスクコンサルティング(株)の自動車事故削減プログラム

東京海上日動リスクコンサルティングでは、カメラ付きドライブレコーダを使用した自動車事故削減プログラムをはじめ各種事故削減メニューを取り揃え、ご提供しております。詳しくは、03-5288-6586(担当:西村・満田)までお問い合わせください。HP(<http://www.tokiorisk.co.jp/>)

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課